

# 平成 26 年北秋田市議会 3 月定例会行政報告

北秋田市議会 3 月定例会が開催されるにあたり、12 月 3 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

## 市長部局

### 総務部

#### 〈総務課関係〉

今冬は、1 月に入り冬型の気圧配置が続き、積雪深が基準値を超えたことから 1 月 14 日午前 9 時「北秋田市災害警戒部（雪害）」を設置しました。屋根の雪下ろしや除雪中の事故防止のための広報や、雪おろし注意情報を配信するなどして注意を呼び掛けております。

#### 〈総合政策課関係〉

再生可能エネルギーの取組みとしてスパークス・グリーンエネルギー&テクノロジー(株)が建設を進めていた太陽光発電所（メガソーラー発電所）が、脇神地区の市有地に完成し、12 月 24 日に開所式が行われました。市内第 1 号となるこの発電所は、現在県内で稼働しているメガソーラー発電所の中で最大規模となっております。

今年度最終の市行政評価委員会が 12 月 26 日に行われ、2 施策・4 事務事業の評価結果について報告を受けました。委員会からの評価・意見は、今後の行政運営に活かしてまいります。

北秋田市青少年国際交流研修団派遣事業として、1 月 6 日から 1 月 11 日までの日程で中高生 5 人を中国に派遣しました。研修団は溧陽市光華高級中学校や蘇州農業職業技術学院での交流やホームステイなどを通じて交流を深めるとともに、異文化社会に対する理解を深めてきました。

#### 〈内陸線再生支援室〉

12 月 28 日に秋田駅で行われた「秋田 DC 感謝祭」クロージングイベントや、毎年交流を深めている京浜急行電鉄株式会社の京急百貨店鉄道フェアにおいて、秋田内陸線の PR や関連商品の販売活動を行いました。

1月18日には、今年度3回目となる秋田内陸線支援団体情報交換会を「マタギの湯」で開催しました。即効性のある支援のあり方や今後のイベントについて、ワークショップ方式で検討会を実施して情報交換を行い、支援体制の共有化が図られました。

新たな取組みとして首都圏デパートでのPR活動の強化や、雪を活用した「雪だるまフェスティバル」の企画、定着してきた「西木の紙風船上げ」「スノーキャンドルストリート in あに」「北秋田おひな様列車」等での臨時列車の増発、さらには恒例となったマイレールキャンペーンを展開して秋田内陸線への誘客を促進しております。

## 財務部

〈財政課関係〉

平成25年11月13日から平成26年1月22日までの工事等発注状況（500万円以上）は、次のとおりとなっております。

工事等発注一覧表 ※ 500万円以上(消費税含む)			
平成25年11月13日～平成26年1月22日			
工事名(業務名)	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
米内沢財産区有林 間伐事業	H25. 12. 19	5,775	(有)新林林業
財務部 1件	/	5,775	
寿荘(阿仁前田)解体工事	H25. 11. 26	6,139	(有)吉田建築
障害者福祉システム改修(平成26年度障害者総合支援法対応)委託	H25. 12. 27	10,983	(株)アイシーエス 秋田支店
健康福祉部 2件	/	17,122	
農業災害復旧工事(1工区)	H25. 11. 22	6,615	大館桂工業(株)北秋田営業所
市行林 間伐事業(その1)	H25. 12. 19	6,930	(有)伊東農園
市行林 間伐事業(その2)	H25. 12. 19	11,760	山一林業(株)

管理省力化施設整備工事(綴子4号)	H25. 12. 20	6,489	大館桂工業(株)
管理省力化施設整備工事(綴子5号)	H25. 12. 20	7,098	大館桂工業(株)
農業災害復旧工事(小様上ミ川原地区)	H25. 12. 20	22,575	(有)鈴謙
市行林 間伐事業(その3)	H26. 1. 9	7,953	(有)山田造材部
市行林 間伐事業(その4)	H26. 1. 9	5,439	(有)新林林業
産業部 8件		74,859	
道路改良工事(その他市道 昭和～合地線2工区)	H25. 12. 6	7,801	(有)長岐建設
北部幹線工事(鷹巣処理区その2)	H25. 12. 19	31,815	(有)丸栄建設
面整備工事(鷹巣処理区その5)	H25. 12. 19	28,350	(株)津谷組
面整備工事(鷹巣処理区その6)	H25. 12. 19	32,970	秋田機械建設(株)
北部幹線工事(鷹巣処理区その3)	H25. 12. 24	25,515	朝日建設(株)
河川災害復旧工事(普通河川 寄延沢川)	H26. 1. 9	6,079	吉満組(有)
河川災害復旧工事(準用河川 東又川)2号	H26. 1. 10	7,035	かつら造園建設(株)
河川災害復旧工事(準用河川 東又川)1号	H26. 1. 14	8,064	(有)松尾土木
建設部 8件		147,629	
北秋田市文化会館 吊天井耐震補強工事	H25. 12. 10	9,607	朝日建設(株)
教育委員会 1件		9,607	
合計 20件		254,992	

## 市民生活部

### 〈生活課関係〉

クリーンリサイクルセンターの平成 25 年 4 月から平成 25 年 12 月までのごみ搬入実績は約 9,833 トンです。その内、北秋田市分は 94%で約 9,216 トンとなっており、前年度に比較して 15 トンの減少となっております。

微小粒子状物質（PM2.5）については、国から注意喚起の判断方法等が示され、県において「秋田県微小粒子状物質（PM2.5）注意喚起運用マニュアル」が策定されました。これにより、注意喚起の実施手順や周知方法が定められたことから、大気への濃度が上昇した場合は、市町村や関係機関に情報提供されますので市民への呼びかけを行います。

12 月 12 日、安全 3 法に基づく立入検査を実施しました。これは、日常使用する家庭製品による事故を防止し、消費者の安全を守るため、店舗で販売されている商品に法律で定められた表示項目があるかなどを確認するものです。市内の 4 店舗にご協力いただき、石油ストーブなど 14 品目を検査した結果、検査対象商品については全て適正に販売されておりました。

1 月 11 日、合川総合窓口センターにおいて北秋田地区交通・防犯指導隊連合会安全祈願式及び査閲式を開催しました。祈願式では平成 26 年中の各種活動の安全を祈願し、査閲式では服装及び規律の確認を行うとともに、警察署等関係団体と連携した活動を行い、市民の交通安全の確保や安全・安心なまちづくりに努めていくことを確認しました。

## 健康福祉部

### 〈福祉課関係〉

「北秋田市保育園等整備計画」及び「北秋田市立保育所民営化基本方針」に基づき、市立保育所を民間法人に移管するにあたり、1 月 9 日に「北秋田市立保育所民営化法人選定委員会」を発足させ、委員の委嘱を行いました。

民間移管を予定しております鷹巣中央保育園及び鷹巣東保育園について、応募予定法人への説明会を 1 月 24 日に開催したところ、市内 5 法人の参加がありました。今後、2 月末までの応募を受け選定委員会を開催し、年度内に移管先法人を決定する予定です。

平成 26 年度市内 11 保育所への入園については、公立保育園 454 人（定数 626 人）私立 354 人（定数 360 人）、計 808 人（定数計 986 人）の申込みがあり、審査の上、全員の入所を決定しました。

児童手当 2 月定期払いについては、2 月 5 日、対象者 1,775 名に支給しました。

障害者自立支援法による自立支援給付事業については、12 月末現在で介護給付 199 人、訓練給

付 117 人、自立支援医療 511 人となっております。

地域生活支援事業については、日常生活用具 91 人、意思疎通支援 2 人、日中一時支援 24 人、児童福祉法による障害児通所支援は 30 人の利用となっております。

障がい者相談支援の拠点である障害者生活支援センターささえの 12 月末現在の延べ利用者は、来所 9,713 人、訪問 1,471 人、電話相談 1,044 件で、精神障がい者と生活困窮者の利用が増えています。また、今年度から同所に設置された障害者虐待防止センターへの通報や相談はありませんでした。今後も関係機関や地域との連携により、各種事業の充実、拡大を図ってまいります。

#### <高齢福祉課関係>

「福祉の雪事業」については、12 月末現在 1,005 世帯が登録しており、高齢者一人暮らし世帯は 750 世帯、高齢者のみの世帯は 204 世帯、その他の世帯は 51 世帯となっております。なお、今年度より、ひとり親世帯も対象に加えたところ、4 世帯が利用登録となりました。また、今年度から要綱の見直しにより非該当になった課税世帯についても希望する 161 世帯には全額自己負担になりますが同じサービスを利用していただいております。12 月分の作業実績では、利用があった世帯は 298 世帯、延利用回数は 1,297 回となっております、作業額は 1,222,126 円、扶助費は 977,700 円となっております。

阿仁前田地区の旧老人憩の家「寿荘」の解体工事については、地元自治会で施設の一部を自治会館として利用したいとの要望があり、急遽工事内容を変更して進めてまいりましたが、本年 1 月 15 日に施設の一部を残し解体工事が終了しております。

地域支援事業における包括的支援事業については、地域支援ネットワークの構築、高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援、地域課題の把握などを目的とした「地域ケア会議」の開催が位置づけられていることから、地域包括支援センターでは、介護・福祉・医療・保健等の多職種連携による個別ケース検討会を 5 回開催しております。また、地域の関係機関等と相互の連携を高めるネットワーク会議については 1 回開催しておりますが、2 月中に 2 回目の会議を予定しております。

ひまわりの家については、本年 3 月 31 日で廃止となりますが、一般利用を 3 月 26 日までとし、秋田県への返還に向けた事務作業を行うこととしております。

#### <医療推進課関係>

北秋田市民病院の玄関前に身障者駐車場アーチが完成し 1 月 6 日より供用開始されております。今後も市民の利便性向上に努めてまいります。

#### <診療所関係>

11月から12月までの市立3診療所の外来患者数については、次のとおりであります。阿仁診療所では、内科1,602人で前年同期対比102人(5.9%)の減、外科1,800人で前年同期対比31人(1.6%)の減、歯科564人で前年同期対比91人(19.2%)の増となっております。次に合川診療所では、外来患者数が1,950人で前年同期対比222人(1.1%)の増となっております。次に米内沢診療所では、内科3,206人で前年同期対比228人(7.7%)の増、小児科465人で前年同期対比97人(17.3%)の減、整形外科690人で前年同期対比22人(3.3%)の増、脳血管外科173人で前年同期対比30人(14.8%)の減、心臓血管外科38人で前年同期対比4人(9.5%)の減となっております。

今後も地域住民の健康を守るため安定した診療所運営を心掛けてまいります。

#### <健康推進課関係>

医療団体との業務協議会が12月13日に開催され、行政と医療・保健関係機関との情報交換が行われました。

成人検診事業については、12月末現在で特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は189人、積極的支援対象者は70人となっており、そのうち動機づけ93人、積極的支援32人、合わせて125人に特定保健指導を実施しております。

生活習慣病予防事業については、すこやか健康講座を5回開催し、栄養や運動を通じた健康づくりについて、延べ476人が受講しました。また、保健協力員・食生活改善推進員と共に市内32自治会を巡回し健康相談・健康教室を開催しました。

無料クーポン券によるがん検診受診者数は、乳がん279人、子宮頸がん131人、大腸がん449人、胃がん95人となっております。

介護予防事業については、介護予防ボランティア講座を3回開催し、延べ56人の参加があり、うち新規受講者9人に修了証を交付しております。今後、地域での活動を期待しているところがあります。

心の健康づくり・自殺予防事業については、毎月1回実施している「いのちとこころのふれあい個別相談」の他、笑いヨガを交えた「心の交流ふれあいサロン」を、身近な自治会館等を活用し16箇所で実施しており、今後3月までサロンを継続開催いたします。

ふれあい相談員の養成講座については、6人の方が新しく相談員となり全体で103人となりました。また75歳以上の方を対象に実施しているホッとあい訪問は、23自治会、655人の方を巡回訪問し、健康相談をしながら高齢者の日常生活の状況把握に努めております。

予防接種事業については、12月末現在で高齢者の肺炎球菌ワクチンが418人、インフルエンザワクチンは6,862人が接種を受けております。小児では任意予防接種である水痘68人・おたふくかぜ55人・インフルエンザ3,409人に接種費用の助成を行いました。また、今年度新規事業

である大人の風しん予防接種については、全額助成として 12 月末現在で 303 人が接種を受けております。

献血実施状況については、12 月末現在で 750 人の方から献血に協力していただいております。

## 産 業 部

### <農林課関係>

平成 26 年産米の生産目標数量については、昨年末に国から県に 433,040 トン、県から当市に 17,140 トンが提示され、面積換算値では 3,203.74 h a であります。平成 25 年産米の配分より 568 トン（△3.2%）の減、面積換算値では 99.99 h a 減となりました。

これに基づき、1 月 27 日に北秋田市農業再生協議会を開催して、J A 鷹巣町に 9,351 トン、J A あきた北央に 7,668 トン、市内主食集荷商業者に 121 トンの生産数量目標の配分方針を示したところです。

今月中に両農協とも座談会等を開催し、生産数量目標を提示して米生産調整に協力を願う予定です。

昨年発生した農地・農業施設災害については、国の査定がすべて終了しましたので、今後は工事発注を進め、春の農作業に支障をきたさないよう努力してまいります。

公有林整備事業については、市有林の育成整備を図るため、栄字彦十郎谷地ほか 4 件の間伐事業(56.45 h a)を発注しております。

松くい虫防除対策事業については、樹幹注入(118 本)及び伐倒駆除(6 本)の業務委託が完了しており、今後も被害拡大の防止に努めてまいります。

林道施設災害復旧事業については、前山滝ノ沢線 1 号箇所ほか 1 件を発注し、9 月 15 日～16 日の台風豪雨による立又線 1 号箇所ほか 2 件については、3 月発注に向けて準備を進めております。

### <商工観光課関係>

中心市街地活性化対策については、鷹巣地区中心商店街の活性化を図ろうと、12 月 15 日から 2 月 1 日まで「第 6 回北秋田きらきらフェスティバル」が開催され、米代児童公園の S L のライトアップや樹木の電飾、キャンドルナイト、クリスマス仮装パレードなどを行い商店街に活気を呼びました。

企業誘致対策については、1 月 15 日、東京都において秋田県企業誘致推進協議会主催による「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」が開催され、北秋田市の誘致企業をはじめ秋田

県内関連企業との交流を図りました。また、翌16日には、北秋田市企業立地協力推進委員懇談会を開催し、企業の立地により産業の振興と雇用の拡大を図るため、情報収集に携わる企業立地協力推進員10名の方々に委嘱状を交付しました。その後、秋田県と北秋田市の企業誘致の取り組み状況を報告し、意見交換が行われました。

観光振興については、八幡平クマ牧場からのヒグマの移送が12月16日から開始されました。当初は12月中の完了を目指しておりましたが、12月中に18頭、1月8日に1頭、計19頭の移送を無事終えております。現在、全頭が冬眠中であります。

1月2日には、新春恒例の「綴子大太鼓たたき初め」が大太鼓の館で開催されました。多くの市民や帰省中の見物客が見守るなか、大音響を轟かせ今年1年の安全と地域の発展を願いました。

森吉山の樹氷鑑賞については、1月11日から3月9日までの日程で始まり、樹氷群という大自然の素晴らしさを多くの方が体感しております。

第9回全国どぶろく研究大会が、1月23日から24日の2日間にわたり、北秋田市文化会館と交流センターを会場に開催されました。文化会館では、全国からどぶろく特区関係者243名が一堂に会し、作家の石川好氏の基調講演や蔵元の事例発表、地域の活性化につながる情報提供、意見交換などで大会が盛り上がりました。また、交流センターにおいては、全国各地から出品された105銘柄のどぶろくコンテストやその審査会と表彰式を兼ねた試飲会・交流会が行われました。表彰式では淡麗の部、濃芳醇の部の2部門で計18種類のどぶろくが受賞しました。試飲会・交流会では、全国から出品されたどぶろくと北秋田市の郷土料理を囲み情報交換と交流が図られました。

第20回鷹巣もちっこ市が2月8日から9日にかけて大太鼓の館駐車場において開催され、北あきたバター餅をはじめ、手作り餅やお焼き、また、地元特産品等が特設テントで販売され、大勢の人達で賑わいました。

## 建設部

### <都市計画課関係>

住宅リフォーム緊急支援事業については、1月末で補助金交付決定数405件、交付決定額57,788千円、対予算比約96%の執行となっております。

市営住宅宮前町団地整備事業については、実施設計業務が12月20日をもって完了し、本体工事の着手に向けた準備をすすめております。

#### <建設課関係>

除雪事業については、早朝の一斉出動日数が、1月23日現在において、鷹巣地区10日、合川地区20日、森吉地区16日、阿仁地区31日で、昨年度の3分の2程度の出動日数となっております。冬期間の市民の安全で円滑な道路交通を確保するために努めているところであります。

社会資本整備総合交付金事業については、舗装工事（大堤～昭和線、藤株～焼却場線、小森～七日市線、七日市～松沢線）4件、橋梁補修工事（ワシ橋、奥見内橋）2件、路面性状調査業務委託（摩当鎌沢線ほか3路線、鷹巣～前山線ほか13路線）2件が完成しております。

道路工事関係については、道路維持工事（坊沢～前山線、高校線）2件、道路改良工事（掛泥新墓地線、川井神社線）2件を発注し、道路改良工事（神成大岱線）1件、排水維持工事（本城新田目線、川口～藤株線、小森地区）3件が完成しております。河川工事関係については、河川維持工事（務沢川）1件を発注しております。

期成同盟会関係については、県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会で交通不能区間の解消と整備促進を求めた要望書を12月19日に北秋田及び山本地域振興局長へ提出しております。

公共土木施設災害復旧事業については、河川災害復旧工事（小摩当川、東又川1、東又川2、黒沢川、馬屋川、増沢川、今泉川、湯ノ沢川1、寄延沢川1、惣内沢川、湯ノ沢川2、寄延沢川2、田沢川、東又川その1、東又川その2、湯車川）16件、道路災害復旧工事（小阿仁線、綴子～小田線、大向～蟹沢線、三枚向林線、寄延沢線、坊沢～前山線）6件を発注しております。

#### <上下水道課関係>

上水道事業については、前綱地区配水管布設工事が完成しております。

簡易水道事業については、新田目・福田ポンプ場解体撤去工事が完成しております。

公共下水道事業については、鷹巣処理区において、脇神字平崎川戸沼地内で面整備工事及び坊沢字下夕上野地内で舗装復旧工事が完成し、綴子字美田古、田中表及び田中地内で面整備工事4件を発注しております。

浄化槽設置整備事業については、鷹巣地区30基、合川地区1基及び森吉地区5基が完成しております。

## 消 防 本 部

### 〈常備消防関係〉

災害対応特殊屈折はしご付消防自動車については、12月11日に納車となり、取扱講習を5日間行った後12月16日より運用開始しております。平成26年度には、緊急消防援助隊への登録を行いますので、災害発生時には迅速に対応できるよう万全を期してまいります。

平成25年中の災害概要は、火災が18件で前年比2件の増で、火災種別では建物火災が6件、林野火災5件、車両火災1件その他火災6件となっています。

火災による損害見積額は前年比8,100千円減の31,492千円、火災による負傷者は1名となっております。

救急出場については、前年比16件増の1,546件で、搬送人員は前年比28人増の1,458名となり昭和47年の救急業務開始以来件数、搬送人員とも最多となり、市民26人に1人が搬送されております。搬送別には、急病が1,016名、一般負傷180名、交通事故84名、転院搬送135名などとなっており、急病の占める割合が依然と多い状況にあります。また、心肺停止により65名、熱中症により10名を搬送しております。ドクターヘリの要請は37件で、出動は24件となっており搬送件数は22件であります。

救助出場については、前年比25件減の44件で、交通事故30件、水難事故2件、建物等事故1件、その他の事故11件となっており、救出・救助した人は交通事故7名、水難事故2名、その他の事故3名であります。また、捜索活動は7件で、生存発見4名、死亡発見3名となっております。

救命講習については、72回実施しており2,116人が受講しております。その内、小児・乳児・新生児を対象とした講習会を3回実施しております。

緊急通報システム設置台数は506台で、緊急通報内容は救急要請が21件、その他に電源異常や誤報による受信が204件となっております。

### 〈非常備消防関係〉

1月4日、市消防出初め式が鷹巣地区を会場に消防団員565人、婦人消防隊26人をはじめに、多数のご来賓と消防関係者が参加し分列行進や式典が行われました。分列行進は、市役所本庁舎を出発し北都銀行前で市長、団長、消防長の観閲をうけ文化会館まで威風堂々で行われました。式典では、大館北秋田支部防火作文コンクールで優秀賞を受賞した渡辺璃央さん（合川中学校3年）の表彰に続いて永年勤続や功績が認められた団員の表彰が行われました。

## 教育委員会

### 〈総務課関係〉

昨年12月鷹巣北部給食センターのボイラー故障事故により12月9日から25日まで給食の提供を停止しておりましたが、ボイラー入れ替え工事が順調に終わり、試運転を経て3学期の始業式には給食の提供を再開することが出来ました。給食停止期間中は保護者をはじめ児童生徒、また教職員の皆様方に多大なご迷惑をお掛けしました。今後、給食の提供停止というようなことが無いよう施設の管理に努めてまいります。

統合合川小学校建設事業関係はいずれも順調に推移しており、用地の造成工事は全て終了しております。現在行っている校舎の基礎工事も年度内には終了する予定となっております。

たかのす幼稚園は平成26年度の園児募集を行いました。入園希望者は1名のみでありましたので、PTA、幼稚園評議員、地元自治会代表者の方々からの意見も聞き、今年度いっぱい閉園とすることとし、今定例会にたかのす幼稚園閉園関係の条例を上程しております。

あきたリフレッシュ学園の12月利用者は5人で、利用日数は11日となっております。なお、1月22日に3学期始業式を行っております。

### 〈学校教育課関係〉

12月15日に山口県で行われた全国中学生駅伝競走大会に、鷹巣中学校の男女各チームが参加し、女子が県勢過去最高順位の4位、男子が16位と大活躍しました。

1月9日には、市教育センター所員発表会が開催され、これまでの教育実践等について発表があり、所員が研修を深めました。

1月20日は、市教育講演会が開催されました。横浜高校の渡辺元智氏を講師に招き、「高校野球とわが人生」と題した講演を行い、渡辺氏のこれまでの経験や指導方法、考え方などをじっくりと聞くことができました。一般公開講座にしたこともあり、市内小中学校の教職員の他、高校関係者、一般参加者など合わせて約320名の参加がありました。

### 〈生涯学習課関係〉

生涯学習の推進について、12月8日に行われた第3回「ふるさとの未来・再考！フォーラム」では、高校生レストランの仕掛け人・岸川政之氏（三重県多気町役場職員）の基調講演を行いました。その後のフォーラムでは、前田小学校の6年生が地域の再発見と住民との交流について、合川中学校が伝統行事を通じた震災被災地との交流について、秋田北鷹高校家庭クラブが郷土食

材を使った料理の開発についての事例を発表し、パネルトークなどを通して地域づくりとその可能性について探りました。

また、12月14日に公民館講座など生涯学習に励んでいる人たちや地域で社会参加の活動を行っている個人団体の方々が一堂に会して「生涯学習フェスタ」が開催され、ステージ発表や体験コーナーなど多彩なプログラムを楽しむと共に、交流を深め、学びの輪を広げました。

「冬の笑楽校」は、さまざまな講座などを組み合わせ、一日を楽しく学べる講座として1月10日に開催され、地域の人材に講師をお願いし、学校とはまた違った学習を体験することができました。

「高校生書道パフォーマンス&現代詩のつどい」が2月8日に開催され、書道と現代詩のコラボレーションから「言葉」の持つ力を学び、人と人との絆や交流が深められました。

高齢者大学「合同講座」が2月13日に開催され、県庁出前講座“はつらつ高齢者輝きアクションプログラム”を受講し、「日本一高齢者が元気な秋田」に向けた取組みについて学びました。

(仮称)生涯学習交流施設については、実施設計書が2月末で完了する予定です。

文化財を火災から守る「第60回文化財防火デー」が、1月26日に阿仁の「異人館」を火元として火災想定訓練が実施されました。地域ぐるみで文化財を火災、震災その他の災害から守るため、阿仁銀山地区住民のバケツリレーによる初期消火訓練や消防署員・地元消防団による放水訓練等が行われました。

#### <スポーツ振興課関係>

12月7日に、第27回森吉なわとび選手権大会が、森吉総合スポーツセンターを会場として、市内の小学生50名が参加し、自己の限界に挑戦しました。

12月20日には、市営薬師山スキー場開きが行われ、津谷市長をはじめ関係各位により今シーズンの安全を祈願しました。

1月5日は、第26回森吉山スキー大会及び第66回大館・北秋田中学校スキー大会クロスカントリー競技を、高津森クロスカントリーコースにて開催し、97名の選手が大勢の声援を受け力走しました。

1月26日には、第7回北秋田市民スキー大会を市営薬師山スキー場にて開催し、小学生の部から一般の部に、アルペン・クロスカントリー競技合わせて214名の選手が、多くの市民の応援を受け熱戦を繰り広げました。